



## 【講師用資料】

# 取引先が反社会的勢力だったら？

【1ページ】

コンプライアンス研修用資料

1



## 反社会的勢力

### 取引先が反社会的勢力だったら？

#### 【研修について】

- ・本研修の目安時間は、15分間です。
- ・講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。  
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

## 進行シナリオ

### 1 タイトルと研修の注意事項(以下)を話す。

本日は、「取引先が反社会的勢力だった場合」について、研修を行います。  
研修の時間は15分程度ですので、学習したことをしっかり覚えるようにしてください。

また、お配りした資料は、私の指示に従って、めくってください。勝手にめくって読み進めないようにお願いします。

では、資料を1枚めくって、2ページを見てください。

### 2 資料を一枚めくる。(2ページに移る)

【社内・代理店限】

## 【本研修の目的】

- ・ 隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

## 進行シナリオ

### 1 研修の目的(以下)を話す。

この研修は、両隣や後ろの人と意見を交換しながら進めていきます。研修中には、いくつかの質問があります。正解・間違いは問いませんので、周りの人と積極的に意見交換してください。  
では、3ページに移ってください。

### 2 3ページに移る。

取引先が反社会的勢力だったら？

## 取引先が反社会的勢力だったら？

販売企画部の八木さんは、新商品販売のため代理店を探しています。知人に相談しながら、ようやく3社と代理店契約を結ぶことになりました。  
「近ごろは、コンプライアンス違反に対して社会の目が厳しいから、この3社についてもちゃんと調べたいけど、知人の紹介だし、問題ないだろう」と、早急に契約を結んだのでした。



Q1

八木さんの会社は、よく調べていない会社と  
なぜ代理店契約を結んだのでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「取引先企業はどのような基準で選定することが多いのでしょうか？」など、発言をしやすい問いかけを行ってください。

## 進行シナリオ

### 1 シーンを話し、1つ目の問題を出す。（以下を話す）

取引先が反社会的勢力だったら？

販売企画部の八木さんは、新商品販売のため代理店を探しています。知人に相談しながら、ようやく3社と代理店契約を結ぶことになりました。  
「近ごろは、コンプライアンス違反に対して社会の目が厳しいから、この3社についてもちゃんと調べたいけど、知人の紹介だし、問題ないだろう」と、早急に契約を結んだのでした。

では、皆さんに1つ目の質問をします。

「八木さんの会社は、よく調べていない会社となぜ代理店契約を結んだのでしょうか？」

1分程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

### 2 1分程度待ち、以下を話す。（1名に発表してもらう。）

いろいろな意見が出たようですね。

では、〇〇さん、八木さんの会社は、なぜ代理店契約を結んだのかを発表してください。

### 3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、4ページで解答を確認しましょう。

### 4 資料を一枚めくる。（4ページに移る）

## 進行シナリオ

### 1 解答を話す。(以下を話す)

ここに書かれているのは、取引先の検討を行わない理由ですよね。  
一番大きな理由としては、「知人の紹介だから問題ないと過信した」ことだと思います。知人のことを信用するあまり、本来は様々な側面から検討しなければならない取引先の選定がずさんなものになってしまっています。  
他にも、「危ない会社という気配すら感じなかった」や「会社名も普通だし、オフィスも綺麗だった」といったあやふやな理由も考えられます。

では、5ページに移ってください。

### 2 5ページに移る。

取引先が反社会的勢力だったら？

4

A  
1 知人の紹介だから問題ないと過信した

〇〇さんの紹介だから大丈夫

聞いたことのある会社が取引先に入っていたし...

悪いウワザは聞こえてこないから問題ない

話をした担当者が真摯でいい人だったから、いい会社じゃない

会社名も普通だし、オフィスも綺麗だったし、まっとうな会社だよ

危ない会社という気配すら感じなかったから大丈夫

急いであるから調査の時間がもったいない

八木さん

## 進行シナリオ

### 1 2つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに2つ目の質問をします。

「その後、新規代理店のうちの1社が反社会的勢力の関連企業と判明。八木さんはどのように対応したらよいのでしょうか？」

先ほどと同じように、30秒程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

### 2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。

では、〇〇さん、八木さんはどのように対応したらよいのかを発表してください。

### 3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、6ページで解答を確認してみましょう。

### 4 資料を一枚めくる。(6ページに移る)

5

取引先が反社会的勢力だったら？

Q2

その後、新規代理店のうちの1社が反社会的勢力の関連企業と判明。八木さんはどのように対応したらよいのでしょうか？


意見がなかなか出ない場合は、「反社会的勢力との関係を絶つにはどのような行動をとるべきですか？」など、発言をしやすい問いかけを行ってください。

【社内・代理店限】

取引先が反社会的勢力だったら？

6

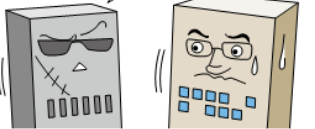
**A 2-1** 上司に報告し、法務・コンプライアンス部門(担当)など関係部署に連絡する



上司: 報告しなさい。  
部下: 報告しなさい。

自分たちだけの問題と考えて、解決しようとしてはいけません。相手につけ込まれ、問題を複雑にする恐れがあります。反社会的勢力との問題は、会社全体として対応する問題です。

**A 2-2** 不当な要求への対策を用意し、契約解除を求める



損害賠償

こちらより契約解除を求めたときに、不当な要求が出される可能性があります。事前に警察や暴力追放運動センター、弁護士などに相談しておきます。

## 進行シナリオ

### 1 1つ目の解答を話す。(以下を話す)

反社会的勢力と関係を絶つには会社全体として取り組まなければなりません。必ず上司や法務・コンプライアンス部門(担当)に連絡してください。自分たちだけで対処しようとする、その場しのぎの対応となってしまう、さらに反社会的勢力につけ込まれる可能性があります。

また、反社会的勢力が保険契約に混入されていた場合には、当該契約の引受保険会社にも対応の報告・相談をしてください。

### 2 2つ目の解答を話す。(以下を話す)

反社会的勢力に対して拒絶する態度を取ると、「迷惑料を支払え」、「誠意を見せろ」といった不当な要求が出されることがあります。あらかじめ、警察や弁護士といった専門家に相談し、どのような対応を行うべきかを確認してください。

では、7ページに移ってください。

### 3 7ページに移る。

## 進行シナリオ

### 1 3つ目の問題を出す。(以下を話す)

続いて、皆さんに3つ目の質問をします。

八木さんは、取引先が反社会的勢力であることを知りながら、会社にはそのことを報告しませんでした。

「もしも、不安や恐れからそのまま取引を続けたら、八木さんや会社はどのような責任を取ることになるのでしょうか？」

法令に対する罰則でも、社内規程に対する罰則でもどちらでもかまいません。30秒程度で、考えてみてください。

### 2 30秒程度待ち、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、8ページでどのような責任を取ることになるのかを確認しましょう。

### 3 資料を一枚めくる。(8ページに移る)

取引先が反社会的勢力だったら？

Q3

もしも、不安や恐れから  
そのまま取引を続けたら、  
八木さんや会社はどのような責任を  
取ることになるのでしょうか？

取引先が反社会的勢力だったら？

8

A  
3

会社：法律違反や条例違反となり、制裁を受ける  
取引先から契約解除や損害賠償請求を受ける  
国や地方公共団体からの仕事が受けられなくなる  
企業イメージの悪化による業績低下など

個人：社内規程により、解雇を含む懲戒処分

法律、条例など	罰則等
暴力団関係者に対する利益供与の禁止 (東京都暴力団排除条例の例)	公安委員会が是正勧告、 従わない場合は事業者名を インターネット上などで公表
【参考】会社法970条 ※ 役員などが株主の権利の行使に関し、総会屋など に対し利益供与した場合	3年以下の懲役 又は300万円以下の罰金

## 進行シナリオ

### 1 損害賠償責任を話す。(以下を話す)

反社会的勢力と取引を続けることは、暴力団排除条例によって利益供与とみなされる可能性があります。この場合、警察による勧告や企業名の公表などが行われたり、他の取引先からの契約解除(代理店委託解約)や、企業イメージの悪化による業績低下といった重大な事態になる恐れがあります。「反社会的勢力とつながりのある企業」という悪いイメージを払拭するのは莫大な時間と労力がかかることを認識してください。

### 2 社内規程違反の罰則を話す。(以下を話す)

反社会的勢力とのつながりを続けた個人は、社内規程違反となるため、懲戒解雇を含む厳しい処分となります。  
また、今回のケースとは異なりますが、役員の場合は、総会屋などに利益供与するなど会社法違反に問われる可能性があります。

では、9ページに移ってください。

### 3 9ページに移る。



## 進行シナリオ

### 1 4つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに最後の質問をします。  
8ページのような悲惨な結末にならないために、  
「八木さんたちは、代理店を選ぶ時に、どうすべきだったと思いますか？」  
  
30秒程度で、考えてみてください。周りの人と意見を出しあってもかまいません。  
それでは始めてください。

### 2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。  
では、〇〇さん、八木さんたちは、代理店を選ぶ時に、どうすべきだったのか  
を発表してください。

### 3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、10ページで解答を確認して  
みましょう。

### 4 資料を一枚めくる。(10ページに移る)

9

取引先が反社会的勢力だったら？

Q4

では、八木さんたちは、  
代理店を選ぶ時に、  
どうすべきだったと思いますか？

意見がなかなか出ない場合は、「取引先を決定する際に  
本来行うべきことはどういうことでしょうか？」など、発言を  
しやすい問いかけを行ってください。

取引先が反社会的勢力だったら？ 10

**A 4** 新規取引先の候補となった会社は必ず調査する

**契約時には、暴力団排除条項※を含める**

※ ①契約の相手方が暴力団関係者でないことの表明 ②契約の相手方が暴力団関係者であることが判明したときは、催告なしに契約を解除できること、など。

万一の時は、暴力団排除条項に基づき契約解除する

警察や行政機関と連携をとって、排除に努める

**どのような経緯であっても取引先となる企業の事前調査を徹底しましょう。**

## 進行シナリオ

### 1 解答を話す。(以下を話す)

新規取引先は、不審な団体や企業と関係がないかを必ず調査してください。

また、取引先と契約する際には、暴力団排除条項を含めるようにします。そうすれば、万一契約締結後に、取引先が反社会的勢力であることがわかったとしても、契約解除がしやすくなります。この場合、反社会的勢力を排除できるように、警察や行政機関と連携することも大切です。

(現行の保険約款には暴力団排除条項が含まれています。該当の条項を確認してみましょう)

### 2 まとめの言葉を話す。(以下を話す)

反社会的勢力を排除するには、そもそも付き合わないようにすることが大事です。

どのような経緯であっても取引先となる企業の事前調査を徹底しましょう。

では、11ページに移ってください。

### 3 11ページに移る。

## 進行シナリオ

### 1 締めめの言葉を話す。(以下を話す)

会社と働く人たち、その家族を守るのは、あなたのコンプライアンス行動です。

以上で、本研修は終わりです。お疲れ様でした。

会社と働く人たち、その家族を守るのは  
あなたのコンプライアンス行動です。

お疲れ様でした。